

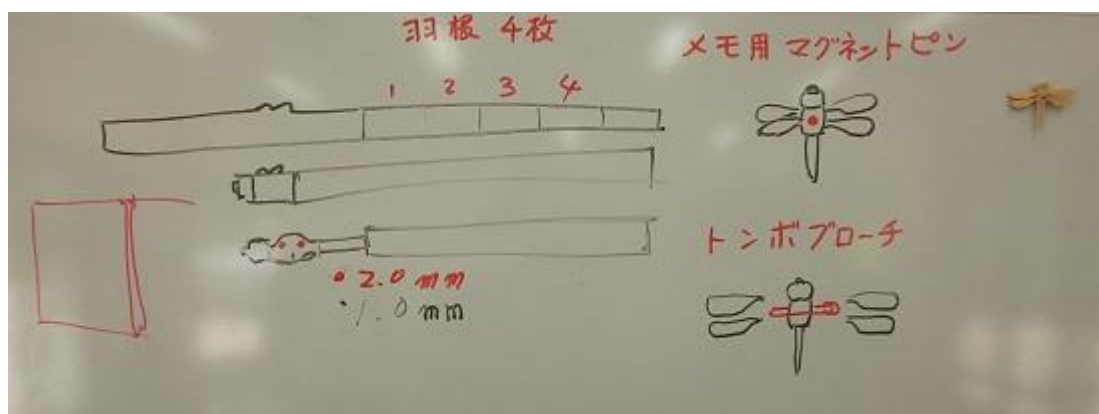
6月のクラフトサークルの定例会は竹で作ったトンボのブローチやマグネットでした。
沢山の個性のあるトンボがテーブルで飛びました。



コロナの影響で窓全開、蚊取り線香を焚いての活動でした。
今年からサークル員になられた方に5月そして6月も指導お願いしました。
竹細工のプロ？あちこちでワークショップや展示、販売されています。



材料の竹も4月にカットしてくださり、乾燥させていたので綺麗な竹の材料で作成できました。
ホワイトボードに簡単な図面を書いて説明していただきました。



これが見本です。



裏のお腹の部分に強力な磁石をつけたトンボ



胴に安全ピンをつけたブローチ



竹の節の部分を胴体にしてその前後の部分に頭や尻尾の部分をまず形づくり
ます。

まず節の前後にのこぎりや金やすりで削ったり



小刀を使って胴体や尻尾を削っています。



？これは刃先が左手に向かっているけど大丈夫かしら気をつけて



この方は大変です。左利きなのに右手用の小刀です。削りにくいでしょう。

うーん左手用の小刀も必要ですね。里山遊びにも使うときがあるので少しは用意しとかないといけませんですね。この秋には久しぶりに里山あそび広場で色んな人に遊んでもらえるかもです。ただコロナのことがあるので、今までのようには遊んでもらえないのですが材料や道具は整備しておかないとね。



おやもう胴体と羽ができていますね。組み合わせるだけです。



胴体が凝っているトンボが目玉つけています。多分目玉すぐにはずれるのでブローチには不向きかな



これも凝っています。羽が緑ではないので削ったか、表ではない部分をつかったのでしょうか。うーん目玉は竹を丸く削って作ったのかしら。作者に聞けばよかった。



これはまた尾がすごい。こんなに細くよく途中で折れずに削れましたね。
この方はよく人とは違う作品作りが得意です。
トンボの図鑑の写真を見て作成している人もいました。皆さん研究熱心です。



全員のトンボが並びませんでした、みなさん夢中になって作りました。



さてみなさんのトンボの後に講師の方がこんな作品を見せてくださいました。
作りたくなる作品が沢山あります。でも難しそう。これをトンボづくりの前に見せると何人かは
この見本に走る人がいたでしょう。だから後で見せてくださいました。



他にも溜息のでる作品がぞくぞく
これ全部竹の作品です。





歴史公園館のオブジェに作品が新たに追加されました。
魚やカタツムリ、カエルが揺れるモビールです。今の季節にぴったり。



他にも餌で誘われてつかまりそうな鳥。すごいです。
籠まで作っています。



他にも9月の定例会で予定している種アートのお花も蝶々のそばにおきました。



公園館に寄られたら見てくださいね。
次回のクラフトサークルの定例会は草木染です。どんな作品が風になびくでしょう。